

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
378	石綿関連疾患 測定業務に従事し炭煙測定(煙突に設置されている測定孔より煙突内部の煤煙を測定する業務)を実施したいです。ピトー管を挿入リリ口を石綿を詰めて固定する方法をとっており、作業中に煤煙及び石綿等を吸い込んでおります。同僚の中には石綿本体を正圧の際、飲み込んでしまった方もいるのですが、飲み込んだ場合は食道癌や胃癌等の恐れはないのでしょうか？中皮腫などが発症すれば、石綿との関連性により労災保険の適用が可能と思われませんが、もし食道癌などでは関連性を証明することはできるのでしょうか？	アスベストを経口から摂取したことによる発ガンや他の疾病は、今のところ明確な報告はありません。腹膜、心膜、精巣鞘膜の中皮腫も呼吸によって体内に入ったアスベストが血管かリンパを経由して標的臓器に到達すると考えられています。他に気になることは、①アスベストリボンや布は未だ禁止されているかどうか、流通している可能性があることです。アスベスト含有のない代替品を使っているかどうか、チェックした方が良いと思われまます。②煙突には内部に断熱材としてアスベストを使っていることがありますので、防じんマスク等の防護は今後も必要と思われまます。	
381	アスベストによる関連疾患として中皮腫・じん肺は認定されているということですが、アスベストにより食道に異常が出るということは無いのでしょうか？左頁の者が食道ガンになりました。無関係であればよいのですが、もしも思いご相談させて頂きます。	現在までの疫学報告では、食道癌とアスベストの関係はないようです。	
385	昭和30年代から50年代まで建築現場で仕事をしていた。健康診断で左肺活量が少なくなると自切れがします。肺活量も低下しています。健康診断で左の胸膜が部分的に肥厚しています。今までアスベストを取り扱った経緯がありませんかと言われ、胸部のCT撮影をしました。結果左肺の一部に繊維状になっている部分がありまると言われました。やはりアスベストに何らかの関連があるのでしょうか。	じん肺・石綿肺が疑われるようです。石綿関連疾患に詳しい医療機関への定期的受診が必要だと思います。	
389	「腹膜中皮腫」は呼吸・空気が通らないのに、なぜここに来るのですか。石綿による「ガン」は、どうして中皮・肺の外部周辺に出来るのでしょうか。肺の中には出来ないのでしょうか。それが「石綿肺」と呼ばれる部分なのではないでしょうか。	1)肺に吸い込まれたアスベスト繊維は、肺のリンパ腺を経由してごく一部が、血液を介して全身に廻ります。ですから、腎臓からも、心臓の筋肉からも、腎臓からもアスベスト繊維が検出されます。当然血液を介して、胸膜中皮や腹膜中皮にも検出されるのです。 2)消化管の飲み込まれたアスベスト繊維が、直接吸収されて腹膜に達する説もあります。 3)石綿による「ガン」は、肺の中に石綿肺癌として起きています。労災でも新規石綿法でも対象疾患です。	
394	35年前に石綿を使用する実験をしていました。3週間に1度約1年位の期間です。3年前から息切れが咳があり急速に悪くなってきて散歩も出来ず毎日家の中で過ごしています。レントゲンやCTで調べてもらった結果は肺の周りに厚い膜が出来ていて肺が充分に酸素を取り入れることが出来ない状態になっている由、現在酸素を鼻から補給しながら生活しています。	悪性中皮腫ではなく、お話しでは「びまん性胸膜肥厚」等の疾患も疑われます。まず病院でよく病名を伺った上で、再度ご相談下さい。	
397	石綿規則に基づき石綿肺の特殊健康診断(初受診)を受ければ、中皮腫に罹患しているかの判定が可能なのではないでしょうか。	中皮腫は石綿吸入者に稀におきる病気です。たまたま健診時に発症していればわかりますが、健診後2ヶ月で発症すれば、当然わかりません。	
401	最近の健康診断で肺の肥厚が見つかりました。理科の授業では、石綿鋼網の非燃性を紹介されて、沢山理科の授業の実験で使いました。雲母は非燃性の物質として理解できますが、石綿は今になって思うとチクタクして嫌なモノでした。発病するには十分な期間であると思いますが、どうでしょうか？現在30代です。	「肺の肥厚」は、石綿以外の原因による胸膜炎の後遺症の「胸膜肥厚」ではないかと思えます。石綿による胸膜の変化は、病変が斑(まだら)状になる。「胸膜肥厚」です。名前は近いのですが、「胸膜肥厚」と「胸膜肥厚」は、全く違う病名です。ご確認頂ければ幸いです。気になる場合は、レントゲンご持参で以下の医療機関に受診して下さい。	胸膜肥厚http://www.himawari-clinic.jp/kb/kyoumakuhikouhan.html
404	この度父が健康診断で再検査を受けた際、肺に写る影がアスベストによるものかもしれないが、はっきり分らないので3ヶ月後にもう一度検査してみようかと医師から言われたそうです。何年か前から肺に白いものが写ると言われつつその度に何でもないと言ったこと、過去に来たこと、若い時にアスベストにまみれて仕事をしていたこと、私が問題なのは、本当にその病気のなか、他の病気のなか、そして今から3ヶ月後に再検査を受けて、その時では手遅れになっていないかと言うことです。	ご質問のお父さんの場合は、中皮の下にできる良性的胸膜肥厚 かと思います。中皮腫を疑い、すぐ検査入院させない医師はいないからです。ご心配ならすぐ予約をとって、国立A病院の主治医の先生に、お父様と一緒に受診され、十分説明を受ける事を、お勧めします。	

相談 区分 番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
427	アスベストを職場で永年同じ様に吸入していたのに、石綿肺が発症し酸素を吸うヒトがいる一方で、レントゲン写真でも顕微鏡で肺の標本を見ても、何も変化がない人もいます。どうしてそういう個人差が生まれるのでしょうか？	動物実験で石綿を吸入した場合でも、肺中に残存している石綿繊維は、100倍程度減少とされています。同じ石綿を同じ期間吸入しても、動物では100倍の残存繊維のの違いがあるという事です。その違いは、個体の鼻や気管等の構造の違い、繊毛等の排出力の違い、免疫をつかさどる細胞の差もあると推定されます。人の場合でも同様に、個人での粉じん・石綿の排出の個人差があると推定されています。更に、石綿が作用する肺内の線維形成能や、中皮腫や肺がんの感受性の個人差もありますので、同じ石綿を吸入しても1000倍近い個人差が生まれる可能性があるのではと、思われます。	
431	最近、中皮腫の早期診断ができる血液の話が時々聞きます。どのくらい確かなのでしょうか？	胸膜中皮腫は、症状がでたり胸水の貯留や胸郭レントゲン写真で確認できる時期で発見された場合は、ステージⅠbやⅡ期である場合が多く、早期診断方法として腫瘍がつく物質の採血で、ステージⅠbやⅡ期である場合が多く、早期診断方法として腫瘍マーカーと呼ばれる物質が期待されています。オーストラリアで見つけられたメタゲンという物質が、注目を集めています。上皮型の中皮腫で高値となり、手術や抗がん剤で腫瘍が切除もしくは減少すると測定値も低下することがわかっています。中皮腫の発症前に高値となった報告があったことから早期診断に期待が高まっていますが、高値例がすべて中皮腫ではなかったり、高値である際にもどの程度検査で見つけられるかという問題もあり、診断精度に今後の工夫が必要といえます。将来的には中皮腫の早期診断の重要な手段で現在積極的な研究段階です。現在はリスクのある人すべてに勧める段階ではない検査と思われれます。	亀井敏明編著.アスベストと中皮腫.東京:徳原出版社.;2007.1-299
432	石綿肺癌の認定の考え方が、欧米では違っていると聞きました。説明してください。	石綿肺がんは、現在では石綿濃度・吸入年数に比例して増加すると考えられています。石綿関連疾患の標準的診断指針であるヘルシンキ・クライテリアは、25繊維・年数の曝露で、石綿肺がんは2倍になるとしています。25繊維・年数に達した職業性石綿(アスベスト)曝露がある人は認定するという考え方が主流となり、ドイツ、その他の欧米諸国にひろがってきています。日本でも2006(平成18)年2月の労災の中皮腫・肺がんの認定基準の変更で、こうした考え方が始まっているのですが、過去の胸膜肥厚斑や石綿小体数を重視する考え方も残っており、胸膜肥厚斑や石綿小体が少なくても石綿曝露が一定あれば労災認定するという部分の考えが十分広まっていないといえます。	
433	肺の中に残っている、石綿小体と石綿繊維について、教えて下さい。	石綿繊維は肺の中に吸入されますが、動物実験ではその99%程度は数ヶ月の間に排出され、肺内に1%程度残存するといわれています。肺内に残存した石綿繊維は、肺内に長く残存する繊維と、リンパの流れをへて肺門から全身の臓器に分布していく繊維に分かれます。肺内に残存している石綿繊維のごく一部に対して肺の白血球が働きかけてタンパク質と鉄が沈着したのが、典型的には鉄アレイ型をした石綿小体です。石綿(アスベスト)繊維は電子顕微鏡で観察し、石綿小体は光学顕微鏡で観察しますが、通常石綿小体の数百倍から数千倍は石綿繊維が肺内にあるとされています。	
45	私仕事で石綿を扱った事ありませんし、夫も父もそういう仕事ではありませんが、中皮腫といわれました。唯一あるとしたら、石綿製造工場から数百mの学校に10数年通学していました。環境中皮腫なのでしょうか？	その可能性は、高いように思います。石綿関連疾患に詳しいINPOと相談しながら、原因の確定、医療機関からの資料のかり出しを行って行きましょう。	
56	私の知り合いの女性には、中皮腫で10年前になくなりましたが、造船所勤務の夫の作業服の洗濯による家族曝露の中皮腫と医師から説明がありました。この間の報道で昔の事を思い出しました。	旅立ちに諷んで哀悼の意を表します。1960年の南アフリカの中皮腫の論文は、1970年代以降中皮腫の方を担当した臨床医師の多くが読みながら、学会で報告した論文で、職業だけでなく家族曝露と環境曝露が記載されていました。日本の医師でも家族曝露や環境曝露に注意していた人もいました。1950年代や60年代に日本の対策がすすんでいけば、ふせげたと思うと残念です。	

相談 番号	相談 区分	相談内容	回答	参考文献・参照HP
58	中皮 腫	私は20代から、建築ゼネコンの現場監督を30年してきました。仕事をしながら大学に通い、真面目に仕事をしました。私の会社は質の良い仕事をすることを知りたい。知る会社で、わかる方にはわかる建築が色々あります。しかしそのビル建築で、吹き付け石綿もありましたし、石綿建材の掃除は監督の私が率先して毎日してきました。中皮腫と言われ最初はよくわかりませんでした。最近仕事でなくなった事がよくわかりました。私の会社では今の所中皮腫は私だけが、特別なんでしょうか？	私の知る限りでは、有名な大手ゼネコンほぼすべてで、中皮腫の方がいらっしゃるようになっています。あなただけでは、ありません。石綿を吸入された方では、良性疾患の(ごく初期の)石綿肺や胸膜肥厚症の方は、年齢や曝露期間で異なりますが、10~30%に達しますが、石綿肺癌や中皮腫は死亡者の現在1%以下の疾患ではないかと思えます。元々稀な疾患ですので、だれでもなるというものとは違います。	厚生労働省石綿に関する健康管理等専門家会議マニユアル作成部会編「石綿ばく露歴把握のための手引」-石綿ばく露歴調査票を使用するに当たって-;2006:1-153 http://www.jaish.gr.jp/information/mhlw/sekimen/h1_8_tebiki.html
76	中皮 腫	夫が腹膜中皮腫になり、死亡しました。解剖して病理検査中です。アスペストとの関係はなかつたようですが。	腹膜中皮腫の診断が確かであれば、どこかでお気づきのならない石綿曝露があったか可能性が高いかと思えます。建物、環境、気づかない職業等です。お調べになりたい方は、調査員と面談して調べられたらいいでしょうか？	
175	中皮 腫	母が胸膜中皮腫になりましたが、仕事は若いときに10年事務職で、その後事務職の父と結婚し、数回転職しました。主婦として30年過ごしており、環境による中皮腫と思えます。今後どうすれば良いのでしょうか？	これまで、これからも治療が必要となりますので、すぐに環境再生保全機構にご連絡し救済給付を申請してください。この給付は、原因は不明でも中皮腫であることが間違いなければ認定されます。申請受理後の治療費と毎月10万円程度の給付がなされます。ただし、ご本人がご存命のときにしか申請できませんのでご注意ください。お母様が原因を追及したいとご希望であればご相談下さい。事務職の現場で何かアスペストに關係していたビル等があるかもしれません。	
186 -142-	中皮 腫	60才の私は胸膜中皮腫になりました。10代で数年石綿工場の10に近くで過ごし、結婚後10年住んだ鉄骨建物に吹き付け石綿がありました。今後どうすれば良いのでしょうか？	環境再生保全機構の救済給付は申請されていますか？ まだでしたら早急に申し込んでください。治療費と毎月の給付金が出ます。ご病気の原因は石綿工場のそばに住んでいたことが有力です。しかし、労災は職場でのばく露が無い場合は認定されません。これまでに全くお仕事はされませんでしたか？ お心当たりございましたら、ぜひご相談下さい。	
192	中皮 腫	父が胸膜中皮腫になりました。原因が思い当たらないのですが、どう調べたら良いのでしょうか？	お父様ご自身が覚えていなくても、当時の職場の方が覚えていらっしゃる場合があります。また、実際に父様が石綿に触れていなくても、周囲で石綿を扱う作業が行われていたなら、その空気を吸ってしまっていることになり、会社の仲間の方をお探しになりお話を伺う事が最初の一歩です。	
260	中皮 腫	数年前、単発性線維性腫瘍(良性中皮腫)と言われました。先生も「直接石綿の仕事でもないのなら、非常に珍しい事だ」と言われましたが、幸い良性で手術はしていません。どういう病気なのでしょう？	線維性の腫瘍でOD34(+)がマーカーです。良性から悪性まであります。これまでは、localized fibrous mesotheliomaと呼ばれていました。石綿との関係はないと考えられています。	亀井敏明編著「アスペストと中皮腫」東京・葎原出版社;2007:1-299
315	中皮 腫	昨今アスペスト被害問題が注目されていますが、実は私に妻も平成A年中皮腫という病名で死亡したことがあります。当時としてはこの病名に今ほど解明されていなくなつたため、医師からの要望で解剖を致しました。当時、医師から妻の病原(アスペスト)となる環境を尋ねられられましたので鉄骨3Fに家を建て替えたことと説明しました。果たしてこれが原因となるかは定かではありませんが、岩綿の露出した部分は業者に頼み直ちに剥離して貰いました。	御伴侶様、ご冥福を心より追悼いたします。解剖をされたこと事ですが新法施行もあり、現在からでも中皮腫の原因等の調査の相談に応じさせていただきます。よろしければ、病院名や病名(胸膜か腹膜か)、奥様の過ごされた住所(名簿以外)も原因はありますので、奥様のお仕事、奥様のお父さんのお仕事(家族曝露)等をお教え頂けると、適切なアドバイスが可能です。	厚生労働省石綿に関する健康管理等専門家会議マニユアル作成部会編「石綿ばく露歴把握のための手引」-石綿ばく露歴調査票を使用するに当たって-;2006:1-153 http://www.jaish.gr.jp/information/mhlw/sekimen/h1_8_tebiki.html
312	中皮 腫	知り合いが中皮腫で亡くなりました。アスペストのことなど知らず今回の報道で初めて知りました。消防士として定年まで現場で働き、消防士の防火服にもアスペストが使われていたと聞きました。手術不可能で痛みを訴えながら亡くなりました。急激に生きる意欲をなくしたのは、ベットに両手、両足を縛り付けられた2日後です。主治医とは縛り付けないと言った約束であったにもかかわらずでした。高齢で発症される方も多いかと思えます。義父のような落胆して死に臨む方が減少することを願っています。	貴重な御体験をお教え頂き、ありがとうございます。痛みや症状を和らげる緩和ケアを十分している方は、皆さん安らかに旅立たれていかれます。過去に消防士をされた方の悪性中皮腫は、業務上疾病となる可能性が大きいと考えられます。ご相談頂ければ、手続き等に関してお教えいたします。ご連絡下さい。	厚生労働省石綿に関する健康管理等専門家会議マニユアル作成部会編「石綿ばく露歴把握のための手引」-石綿ばく露歴調査票を使用するに当たって-;2006:1-153 http://www.jaish.gr.jp/information/mhlw/sekimen/h1_8_tebiki.html

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
317	<p>中皮腫</p> <p>父は悪性胸膜中皮腫であっという間に亡くなってしまいました。気持ちも苦しい私にとって最愛の父で、明るく優しくユーモラスで人の悪口など一言も言わない人でした。40年修理工として働いていました。病院で手術で父の胸部から取り出された腫瘍は私の目に焼きついて離れません。とっも元気があったのに！孫と温泉に行く母の喜ぶ顔を見るためにそんな病気になることも知らず、苦しい息で車を走らせた父。多趣味で母に優しく、わすかな命と悟り、亡くなる2週間前に自宅に数時間だけ帰宅を許され、庭を眺めたい、みんなでご飯を食べようと言った父、極度の苦痛に麻酔で眠らされる前の晩まで、看護師さんに申し訳ないからと自分でトイレに行こうと頑張り呼吸困難になってしまった父、父はとっってもタフで、こんなに早く死ぬような人じゃないんです！アスベストと会社は本当に本当に本当に悔いします。今更にもしませんが、アスベストの恐怖を知っている私にできること、それは今後この過ちを犯さないよう、事実を明らかにすることだと思っています。</p>	<p>お父様への愛と、失われた悔しさのあふれる相談を伺い、大変感じるものがございました。御相談の限りでは恐らく可能な労災の申請をしていない様ですが？</p>	
318	<p>中皮腫</p> <p>私の種類の者が、悪性腹膜中皮腫と診断されました。年齢は70代。治療の方法がないということ、今家にいます。食欲がなく、ジュースなどを飲むとほきだします。体調が悪く中皮腫と分かるまで約1ヶ月かかりました。その間体重が20キログラム減少して、骨と皮になりました。腹膜中皮腫の治療を行っているところをご存知でしたら是非教えてください。</p>	<p>親類の方のご病気で、さぞご苦労されている事と思います。なかなか腹膜中皮腫の治療は困難ですが、A地区ではB病院内科のC先生が、詳しいお一人と思えます</p>	
320	<p>中皮腫</p> <p>奥様は幼少の頃から尼崎在住の方で、A病院で「悪性胸膜中皮腫」と診断されたそうです。関連のないお仕事されていたそうで、当時「現場で働く工員が罹る病気だから珍しい」と医師に言われたそうです。手術もままならぬ中亡くなりました。届出をしましたが、今になって尼崎の工場との関連が発表され心配されています。届出をしたほうが良いのか？必要な書類等は何でしょうか？</p>	<p>尼崎の関連ですので、この間多くの中皮腫の方の援助にあたられた、アスベストに詳しい機関をご紹介します。</p>	
321	<p>中皮腫</p> <p>1) 腹膜中皮腫の治療について、教えてください。2) 腹腔にリザーバーの留置とのことですが、お教え頂けるとありがたいです。</p>	<p>腹膜中皮腫の治療は様々な方法が検討されておりますが、海外でも有効な結果がでておりません。アリムタの認可は諸外国でも悪性胸膜中皮腫の可能性はまずない状態で可されていませんので日本での悪性腹膜中皮腫の治療の可能性はまずない状態で可されていません。胸膜中皮腫については、恐らく来年少年アリムタは保険適用となり、どの病院でも使用可能となるでしょう。昨年のイタリアでの国際会議の報告から考えても、この2年ほど悪性腹膜中皮腫の新薬がでる可能性は、世界的にほぼ難しいのが実情です。腫瘍の専門家にかかれれば良くなる疾患ではない、という事でもありません。(2005年の回答) 現在腫瘍内科等の抗がん剤の治療の専門の医師が必要というよりは、緩和ケアを含めて何でも親身になって相談のできる消化器内科(外科)もしくは緩和ケア科の医師が必要かと思っております。腹水のコントロールに最近リザーバーの使用例が増えていますが必要時に穿刺すれば同様だと思います。</p>	
322	<p>中皮腫</p> <p>船の機関士をしていた知人が40代で胸膜悪性中皮腫より他界しました。故人は若い時に機関室の壁のアスベストをマスクもせずに剥いだり素手で運んだりしていた事をかなり気にしています。アスベストに暴露された期間が15年ほどになりますが、そのような短い期間でもアスベスト原因で中皮腫を発症した事例はありますか？</p>	<p>船の機関士は、昨年当センターにご相談の方が業務上で認定されて以降、5名の方が悪性中皮腫で認定されました。石綿の曝露期間は1年で業務上と認定されています。3年前なら今から手続きをされれば、ご遺族に様々な補償が受けられます。</p>	
323	<p>中皮腫</p> <p>私の父が心臓の癌と診断され死亡しました。「俺が死んだら解剖をして腫瘍でなにか調べて欲しい」と遺言を残し、残された家族は遺言通り解剖をしましたが腫瘍ではないとの医師の返事でした。当時を思い起こすと父の症状が中皮腫に似ており連絡させていたかったです。父が他界してからたちまち調べることが出来るでしょうか教えてください。</p>	<p>解剖をされているとの事ですので、今後の検討は可能です。死亡年月日、お手元に残存する死亡診断書等の全資料をまず複写してお送りくださり、今後のご相談に応じます。</p>	

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
324	<p>「悪性胸膜中皮腫」で他界した父は医者で色々な文献を読み当時症例として少なくな治療法も確立していない事から、患者の立場と同時に医者としても苦しみ悩んでおりました。「原因はアスベストだ」と父は申し出ておりましたが、いつアスベストに囲まれる環境に自分が身を置いていたのか、本人はわからず「何でこんなことになるんだ？」と申しておりました。父の場合、アスベストが原因ではないかもしれませんが、しかし、知らないうちに環境被害をうけていたのかもしれないかもしれません。そこで、アスベストが周辺住民に被害を与えていたと思われるエリアとはどこなのでしょう？ お教え頂けないでしょうか。</p>	<p>悪性中皮腫の曝露は様々に知られています。1) 外科医だったのででしょうか？ 手術時に使用する手袋のタルクのアスベスト曝露が知られています。2) 生まれてから過ごされた様々な建物にわがかりますか？ 大学等での曝露が疑われる方もいます。3) お若い時に海軍等の関連の仕事をした事はないでしょうか？ この時期の曝露がある方がいます。4) 日本は少量ですが石綿や蛇紋岩がある地域が多いです。北海道、東北、秩父、愛知、四国、中国、九州等にあり、石綿工場、職業歴、職業歴をすべ業所資料をご参考ください。以上は簡単な例ですが、居住歴、家族歴、職業歴をすべてを伺って、吸入した場所を特定して参ります。また切除した肺の石綿繊維等の分析も可能な場合が多いです。ご遺族からの相談も増えております。簡単な履歴をお送りくださいれば、次のステップのアドヴァイスが可能かと思えます。</p>	<p>厚生労働省事業所公開 第1回HP http://www.mhlw.go.jp/houdou/2005/07/h0729-2.html 厚生労働省事業所公開第2回HP http://www.mhlw.go.jp/houdou/2005/08/h0826-3.html</p>
325	<p>A病院の医師から病理検体を依頼されましたので、2、3お尋ねしたいことがあります。お便りさせていただきました。採取している検体は胸水細胞診と胸腔鏡下で採取した末梢肺・壁胸膜の組織です。胸水細胞診はご返却を前提とした貸し出しでよろしいでしょうか。組織はいずれも診断に至らない量であったのです。プレパラートのみでよろしいのでしょうか。ブロックでアスベスト検出を試みられるということであれば、保管ブロックがなくなるということでしょうか。</p>	<p>胸水細胞診は細胞診報告書のみで結構です。胸腔鏡下生検の病理検査報告書をまづ見せていただきますが、壁胸膜は必要に応じて様々な免疫染色を行う場合と全く行わないで返却する場合があります。</p> <p>末梢肺については既に診断用に作成されているプレパラート以外の肺を完全に使用しませんと(乾燥肺で0.1g以上が望ましい)十分な石綿繊維等の同定は難しいのが実情です。検査の必要に応じてですが、末梢肺のブロックは当方で完全に使用する事になる場合も多いと思っております。よろしく御願致します。</p>	
326	<p>妻がA医大で腹膜悪性中皮腫と診断され腫瘍は手術で摘出されました。腹膜に中皮腫が散らばっているようです。この病気が完全治癒するのでしょうか。又、どの程度の期間が必要でしょうか。</p>	<p>お連れ合いの突然の病気で、ご苦労されている事と思います。女性の腹膜中皮腫は、色々な他の病気の区別が困難とされ、アスベストの関連がある場合と無い場合があります。</p> <p>1) 主治医の先生から手術後の病理検査の説明はあったでしょうか？ 病理検査報告書の複写を見せて頂いた上で病気の相談をさせて頂いた方が多い場合が多いです。仮に腹膜中皮腫の診断が確かな場合、完全治癒は難しいと思われま。また興味のこれまでのお仕事がわかりましたらお教え下さい。</p>	
327	<p>先日母が呼吸しにくいと言って入院し、レントゲンなどで調べた結果、中皮腫であると診断されました。昭和20年代から現在の場所に住んでおり、家庭ではアスベストを吸い込むことは、まず考えられません。昭和30年ごろから祖父が経営していた会社で勤務し、30年間ほど主に営業として働いていました。父が、すぐにその会社も工場もなくなり、調べることができません。この場合、ただ治療に専念するしかないのでしょうか？</p>	<p>お母様の病気で、ご苦労されている事と思います。治療も大事ですし、調査も可能です。電話でご相談下さい。</p>	
328	<p>父が中皮腫で亡くなりました。アスベストが原因との情報は知っていましたが父も頭をひねっていました。父は研究者として勤務退職まで働きました。呼吸困難で悪性中皮腫と診断され亡くなる前、「確かに研究室で実験で石綿入り綿を使ったけど、病気になるかなあ」と言っていました。研究領域に長くいたので自分の病状にも比較的冷静でしたが、報道でアスベスト問題が取り上げられるようになっていきました。</p>	<p>父が研究室等の吹きつけアスベストが多く使用された環境です。実験室の炉等で、石綿、リボン等を使用される例があります。以上の吸入や家族環境曝露が疑われますので御相談ください。</p>	
330	<p>父は悪性胸膜中皮腫と診断されました。治療法がないとのこと告知をしない選択をしました。急に食欲がなくなり入院。入院直後に家族の承諾なしにモルチネの投与をさせられ意識が混濁しましたが、特に痛みを訴えるわけではなかったのモルチネは中止していただきました。意識はまだならながらもコミュニケーションは可能です。一度退院しましたが肺炎を起こし再入院。今日現在痛みが強く、食事もできなくなりました。看取るのが辛いので覚悟をしているような状態です。酸素療法と点滴、疼痛時の座薬(ボルタレン)投与です。アスベストとの関係を尋ねましたが、原因の究明はあきらめてくださいとの返事でした。職歴からアスベストとの関連は証明できませんが、先程戻ったHPで趣味が日曜大工の人は要注意とのこと。作ることが好きなので何でも自分で作っていました。今は痛みの緩和だけが願いです。後からアスベストを特定するのは難しいことなのでしょうか？何かアドヴァイスをいただけましたらよろしく御願致します。</p>	<p>入院中の病院名を、至急相談で教えて下さい。石綿に詳しい相談員が、本人からお話を伺うと、気づいていなかった職業の石綿吸入等が判明する場合があります。ご本人が旅立たれると、特定は難しくなります。私たちは病床での様々な経験、病名を知らない方への対応も豊富です。ご心配なく。病院に応じて近くの相談者を至急派遣します。</p>	

相談区分 相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
332 中皮腫	鉄道車両製造会社を定年退職後、中皮腫が発病して死亡しました。当時からアスベスト被害と想像しておりましたが、そのまま現在にいたっております。過去のことですので、補償等がかんがえておりませんが、家族の今後の健康を考えると不安になります。どのように対応したらよいでしょうか。	幾つかの解決方法があると思いますのでご相談ください。	
333 中皮腫	以前石綿製品工場に勤務しており、いち早くアスベストの怖さを知っています。私は事務員をしておりましたが事務所にエアコンなど無く、夏は工場の窓も全開でした。私も時に工場の中に人を呼びに行き仕事もあり中に入ると石綿で前がかすんでいるくらい粉塵でした。胸腺腫瘍があつて切腹しました。工場の人の何人かは肺がんで早くに亡くなった人もいます。意見をお聞かせください。	胸腺腫と、胸膜中皮腫は、異なる病気で、先生から説明された病名の資料を、お送り頂けると幸いです。その上で、電話でご相談させていただきます。	
334 中皮腫	中皮腫という病気について質問があります。主人の母が『悪性胸膜中皮腫』でなくなりました。診断を受けた時、『原因はアスベストによるもの』と言われました。母は『悪い当たることがないのに何故?』と疑問を抱きながら亡くなってしまいました。中皮腫という病気の原因は、アスベストだけでしょうか？ 母が中皮腫にかかったということは、その子供も中皮腫にかかる可能性があるのでしょうか？ 昔の記憶は定かではないけれど船を作るようなところに仕事に行っていたような気がすると聞いています。	アスベスト以外の原因もわずかにありますが、アスベストが主です。お母さんは夫が造船等と石綿関連の事が、ありそです。親が中皮腫だからといって、子供さんが中皮腫になる事は、極めて稀です。ご心配なく。詳しい相談が必要でしたら、ご相談下さい。	
337 中皮腫	胸部X線で氣道を圧迫する腫瘍が見つかったため入院となりました。肺生検にて悪性であることに間違いはないが確定診断まではできませんでした。転院したDrから『悪性胸膜中皮腫』だとういわれ他界しました。造船所内の職種で、配管として20年間の勤務です。「石綿肺」とか「胸腺肥厚症」が確認されないかと、認定されにくいようですが胸腺肥厚症になるのでしょうか？	中皮腫なのか、そうではないのか含めたご相談のように思います。資料を見ながらのご相談でないと難しいように思います。必要なら電話で以下にご相談下さい。(2005年段階の認定規準の際の相談で、2006年以降は、あてはまりません。)	
338 中皮腫	母親が、腹膜「悪性中皮腫」と診断されました。母は専業主婦で、石綿の被害とすれば「天井や壁に吹きつけ石綿のある施設や部屋」に住んでいたと考えられます。家は築30年は経っているのですが、当時建ててもらった工務店はすでになくなっていていそうです。石綿のある家かどうか調べのにはどのようなしたら良いのですか？	女性の場合、原因は様々です。中皮腫の確認、ご自宅の石綿以外でも家族曝露や学校等の建物曝露等色々な理由があります。石綿に詳しい相談員と直接お話し頂き、調査していくのが解決の早道です。	
402 中皮腫	まだ若いのですが、中皮腫との診断を受け、ショックを受けています。セカンド・オピニオンを受けたいし、石綿との関係も伺いたいのですが、主治医から何の資料を借りて、受診すれば良いのでしょうか？	主治医の先生から、1)病理組織診断結果報告書 2)紹介状 3)病院に初めてかかれた時期の胸部レントゲン写真とCT写真を御借用下さい。その後アスベストに詳しい病院の医師の相談の予約をおとり下さい。	ひらの亀戸ひまわり診療所 http://www.himawari-clinic.jp/index.shtml
1 健診	50代の夫が「医大受診中の妻です。胸腺肥厚症を指摘されました。昔、トンネル内で測量(土木)の仕事をしていました。肺ガンと中皮腫とじん肺は(一)と言われています。トンネルや道路の作業もしてきました。今後の健康対策はどうしたら良いでしょうか？	CT/XPで確認し、作業歴を詳しく伺ってからお話したいので、受診中の病院からXPやCTを借用してきて、アスベストに詳しい病院を受診するようにしましょう。	
2 健診	紹介でAクリニックの先生に受診したところ、レントゲン写真とCTで石綿肺とされ、じん肺管理区分2となりまりました。仕事はバルブ会社で石灰石をかし石灰水を作る工程で、蒸解釜があり木村バルブ+石灰水で蒸気+亜硫酸ガスがでます。側に吹きつけアスベストが熱でぼろぼろになるようになってよく飛散しました。今後の健康管理では、どのような点に注意すればよいでしょうか？	じん肺の管理2ですし石綿の吸入もあるので、年2回の胸部レントゲン写真のチェックと、年1回のCT写真の撮影が法的に定められています。	
81 健診	半年ごとに行われる、会社の健康診断(レントゲン(年1回)では何も異常はありませんでしたが、過去に長くアスベスト加工(板に穴あけ)の経験があるので不安です。自覚症状としては息切れがありますが心肥大の診断もありません。	既に石綿則の健診が半年に1回実施されているようです。健診を受ける際に医師に十分相談してください。	

相談番号	相談区分	相談内容	回答	参考文献・参照HP
254	健診	二十代の男です。八年前に半年間建設会社にバイトとして勤め半年のうちに二週間工事現場の解体作業や掃除、壁の取り壊しに回されました。粉じん舞うなかで作業し、マスクをつけたりつかなかったりで、相当量を吸ったかもしれません。何も聞かされなかったのが定かではないのですが、もしアスベストが混ざっていたら二週間の短期作業でも悪性中皮腫や肺ガンなどにかかるとは高いのでしょうか？テレビでアスベスト特集を見て不安でいっぱいです。アスベストは潜伏期間が長いと聞いたのですが、八年経った今でも検査を受けてもあまり意味はないのでしょうか？	解体の現場もあったとの事ですから、アスベスト粉じんを吸ってしまった事は否定できないと思います。実際、アスベストの病気になるわけではありませんが、極端に恐れる必要はありません。ただし、毎年の健康診断にあたり、過去アスベストを吸ってしまった時期があることを医師に伝えておく事は大切です。それにより注意深く胸のレントゲンを見てくれるようになります。将来の異変の早期発見につながります。なお、CT写真はレントゲンよりも放射線量が多くの医師から勧められない限り嫌らなようにしてください。	
379	健診	アスベストについてご相談させていただきたくご連絡いたします。私の親は50歳代で約30年以上、内装業を自営で営んでおります。住宅の改築や解体などをおこなっているため、アスベストの害を被っている可能性が多々あります。被害にあっていないかどうかを検査するには、どこでどのような検査を受ければよいのでしょうか。私の父だけでなく、従業員にも同様の検査を受けさせたいと思っております。	建築関連のお仕事をしてきた方ですから、じん肺法による健診を最低3年に1回、石綿則による健診を半年に1回施行する必要があります。石綿関連疾患が生じる時期になっていきますから、健診の実施と共に、今後の安全衛生活動で粉じんの発じん防止、飛散防止、保護具体策、禁煙等が重要です。退職者には石綿健康管理手帳の交付も必要になります。	
387	健診	定年退職しました。ここ数年のどにタンが引つかかる様になり胸も痛みが有る様な気がします。昭和50年頃アスベストを使用して仕事に携わっておりアスベストの粉塵も吸っているかと思っております。中皮腫にかかっているかどうか検査を受けたのですが、①どの病院へ行けばいいのでしょうか。②検査内容及び検査方法及び費用を分かれば教えて下さい。	石綿関連疾患に詳しい呼吸器内科医がいる所が良いと思います。胸部レントゲン写真と胸部CT写真を撮影し診察するのが第1回目は基本だと思います。健診であれば1万5千円で、症状があり健康保険の3割自己負担の場合は、4500円程度だと思えます。	
488	健診	アスベスト取り扱い扱の業務に30年間携わってきて退職しました。呼吸器の腫瘍が悪50歳頃退職しました。どのような医療機関で診断してもらったらよいのでしょうか？現在は普段の生活に支障はありませんが風邪を引きやすいくらいです。私と一緒に仕事していた先輩は3年前くらいに肺がんで亡くなりました。	A病院のB先生が、石綿関連疾患に大変詳しい先生です。外来の予約をお取りなされり受診され、アドバイスをうけてもらってください。	
410	健診	現在の会社にて30年前には5年間ほどアスベストを使って作業をしていました。また15年前から5年間ほど天井の吹き付けアスベストが時々剥がれ落ちる職場にいました。被害のニュースを聞いて心配になり検診をうけたいのですが、アスベスト関連の中皮腫・じん肺を検査する項目があれば教えていただけないでしょうか？	曝露に関する詳しい問診、胸部レントゲン写真、診察、必要に応じて呼吸機能検査や胸部CT写真、かか痰の検査が実施されます。石綿に詳しい医師がいる医療機関で年に2回程度の健診が今後必要と思います。	
51	医療相談	痰がひどく出て困っています。ビル工事に20～30年従事しました。吹付け石綿の横で足場を作ったり掃除をしました。治らないし苦しんで毎日生活しています。アパートに住んでいますが、家主さんが心配しています。退職して3年ですが、色々な所に相談しましたが様々な手続は無理といわれました。	じん肺の管理区分の申請や労災としての手続きができる場合があります。アスベストに関連疾患に詳しい病院をまず受診し、その後程度に応じた手続きをすることを勧めます。	
55	医療相談	断熱材を建築、塗装で長年使ってきました。アスベストによるじん肺と言われています。レントゲン写真で異常があり、鼻水や痰も出ます。3年間仕事をしています。今後、どうしたらよいのでしょうか？	じん肺の管理区分の申請や労災としての手続きができる場合があります。アスベストに関連疾患に詳しい病院をまず受診し、その後程度に応じた手続きをすることを勧めます。	
73	医療相談	50代の夫に関する相談です。新築ビルに吹きつけ石綿を取り付ける建設のEV工事(アスベスト含有)をしています。じん肺気味です。近郊で詳しい医師がいらっしゃれば紹介してください。	医師の紹介は可能ですが、詳しい人が少ない地域なので、XPを送ってください。資料として、じん肺関連の資料を送付します。	

相談区分	相談内容	回答	参考文献・参照HP
391 医療相談	<p>父は肺気腫と診断され、酸素を吸いながらの生活をしております。今ではかなり悪くなり、片時も手放すことが出来なくなっております。父もアスベストが使われ始めた頃、建設業をしており施工の際にアスベストを使っております。仕事場で子供ながらにアスベストを触った事があることも薄々記憶にあります。家の倉庫にも今だにしまわれています。そのアスベストを販売した工務店の方から、検査をしたほうが良いと勧められ、市民病院で検査してもらいましたが、レントゲン検査の結果、その影響は考えられないと診断されました。私のいとこが県庁に勤めており、痰の検査もしたほうが良いと聞いています。私のが、いかなものなんでしょうか？</p>	<p>肺気腫の診断が間違いないのであれば、アスベストとは無縁でしょう。但し、石綿によるじん肺＝石綿肺を、肺気腫と診断するケースも時々あるのが実情です。お住まいの都道府県をお教えいただければ、信頼のできる医療機関をご紹介します。</p>	
398 医療相談	<p>アスベスト作業してから約3ヶ月位経ちますが、未だに息を吸うと右側の気管支の奥(右肺)にツーンとした感じ(異物が引っ掛っている感じ)があります。これもアスベストと何か関連があるのでしょうか？またアスベスト曝露になると自覚症状はどのような感じになるのでしょうか？</p>	<p>症状は恐らく吸入された粉塵のためか、その他の原因の気管支炎によるもので、吸入して3ヶ月後でアスベストによる影響はないと考えます。</p>	